

伊丹市昆虫館（昆陽池3）が、人の顔のような模様の「ジンメンカメムシ」の生体を展示している。植物防疫法で輸入が禁止されており、国内で生きた姿を見られるのは、同館と三重県の博物館の2館だけという。東南アジアに生息しており、体長2〜3センチ。頭部を下にした背中 of 模様が、相撲取りやリーゼントをした人の顔のように見える。植物を食べる生き物は農作物の害虫となる恐れがあり、輸入が規制されている。同館は農林水産大臣の許可を得て、マレーシアから輸入した。

希少な生体の姿観察を

鍵付きで二重の亚克力ケースに入れるなど注意を払い、約10匹を展示。寿命が短いため、生体が見られるのは8月いっぱいになりそうだ。同館は「世界には面白い虫がいることを知り、昆虫に興味を持って」と



人の顔に見えるジンメンカメムシ=伊丹市昆陽池3

ジンメンカメムシ展示 伊丹・昆虫館

8月末まで開催している25周年特別展の一環。過去に好評だった展示や学芸員の解説、昆虫の撮影・観察会などもある。詳細は同館ホームページ。
同館 ☎072・785・35002
(土井秀人)

① 伊丹市昆虫館で展示されている人の顔のような模様をしている昆虫の名前は何ですか？

② この昆虫の大きさは、どれくらいですか？

③ この昆虫は、輸入が規制されていますが、なぜでしょうか？

④ この記事を読んだ感想を書きましよう。

Blank brackets for writing answers to questions 1-4.

名前 【 】